

令和3年3月31日

## 令和2年度 特別の教育課程の実施状況等について

京都府		
カリキュラム開発拠点校	管理機関名	設置者の別
同志社国際高等学校	学校法人同志社	私

## 1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

カリキュラム開発拠点校	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
同志社国際高等学校	<a href="http://www.intnl.doshisha.ac.jp">http://www.intnl.doshisha.ac.jp</a>	<a href="http://www.intnl.doshisha.ac.jp">http://www.intnl.doshisha.ac.jp</a>

※結果公表に関する情報について、ウェブ上で公開している場合は公開しているウェブページの URL を記入すること。ウェブ以外で公開している場合は、公開している情報を閲覧できる場所・方法を適宜記入すること。

\* 本校では特別な教育課程は実施していません。1 年生は学校設置科目として必修科目 Sustainable Society Study、2 年生は Sustainable Society Research を選択科目、3 年生は Sustainable Society Design を選択科目で開講しており、その旨、完了実施報告書に記載しております。

## 2. 特別の教育課程の内容

## (1) 特別の教育課程の概要

特別の教育課程として実施することはせず、上記の方法で実施をしております。特別の教育課程の実施については、今後検討していきます。

## (2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

帰国生徒が全校生徒の3分の2在籍しており習熟度別授業となっており、90%以上の生徒は同志社大学に推薦進学するため多様な選択科目が設定され、一人ひとりの学習歴や目標に応じた履修が可能にする教育課程になっております。こういった教育課程の中に WWL プログラムを位置づけることで、生徒の学びと選択の幅が、より広く深いものとなるため、特別の教育課程を編成する必要はありません。

## (3) 特例の適用開始日

なし

## (4) 取組の期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

### 3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

#### (1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・計画通り実施できている

#### (2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

#### (3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・一部実施していない

#### <特記事項>

現在新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、大規模な集会はすべて中止としています。SGHの時には毎年、成果報告会を実施しており、次年度以降、ズームでの開催も検討中です。冊子やウェブサイトでの情報提供を実施します。

### 4. 実施の効果及び課題

#### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

本校では、1年生は学校設置科目として必修科目 Sustainable Society Study を開講し、基礎的なアカデミックスキルの習得と国内外様々な地域での生徒たちの個別の生活経験を普遍化し、グローバルな社会課題を発見することを学びます。また、2年生は Sustainable Society Research を選択科目、3年生は Sustainable Society Design を選択科目として開講することで、少人数クラスを編成し、学校外でのフィールドワークや行政、民間企業との協働を通して、生徒は様々なスキルや知識を身につけます。こうしたプログラムを実施することで、世界の課題を自分の問題としてとらえ、また、多様性を尊重する姿勢を育むという学校の教育目標の達成を目指します。

#### (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

### 5. 課題の改善のための取組の方向性